

## 2007年7月21日(横浜) CFAジャパンリジョン クラブミーティング

大阪フィロキャットソサエティー  
東京フィラインファンシアーズ  
猫語りキャットクラブ  
ジャパンリバティーキャットクラブ  
リバティーキャットクラブ群馬  
リュバンドールキャットファンシアーズ  
アメリカンショートヘアークラブジャパン  
さくらキャットクラブ  
ジャパンNFCブリードクラブ  
ジャパンアカデミックキャットクラブ  
ヨコハマベイキャットファンシアーズ  
西日本キャットクラブ  
キャメロットキャットキングダム  
スマイルキャットクラブ  
ロイヤルオールブリードキャットクラブ  
ソマリキャットファミリー  
東京A&Aキャットクラブ  
ペルシアンフェリーズキャットクラブ  
エースキャットファンシアーズ  
マウントフジノーザンキャットクラブ  
ベルチェブランキャットクラブ  
ジャパンアフロディーテキャットクラブ  
A1キャットアカデミー  
レックスオリエンタルキャットクラブ  
アブシンベルキャットクラブ  
キャッツアイファンシアーズ  
東京キャットファンシアーズ  
ジャパンキャットファンシアーズ  
キャットコミュニケーションプロセス  
ハッピーアイランドキャットクラブ  
フレンドリーインターナショナル  
(委任状含む)  
リジョン役員: リジョンディレクター, リジョンセクレタリー, リジョン会計, クラークキングプログラムリエゾン

佐藤や: それではクラブミーティングを始めます。議長を選出します。

フロアから: 新本さんをお願いします。

佐藤や: 新本さんという声をいただいたのでお願いします(拍手)。

新本ひ: 現在委任状と、代表者が参加しているクラブ合計27クラブの参加(最終的に31クラブ)。まず事業報告を会計報告と一緒に。

### ■事業会計報告

黒川: 昨年のアワードは、ヒルズからの援助もあって参加費1万円で開催したが、若干の黒字になった。また、クラークキングスルールがあった。そして本年1月のリジョナルショー、ヒルズからの援助が少し減ったので、切りつめて開催したが、これも若干の黒字。リジョンの決算も見えていただきたい。リジョンディレクター一名の小切手を現金化にてこずった。ディレクター経費は通訳料はもらっておらず実費のみ。リングライトがよく壊れるので追

加で購入分の経費がかかった。現在872万円ある。

小島: 昨年も言ったが、収入への経常の仕方が悪い。必ず回収されるアワードの立て替え金や売掛金を収入に入れておかないと、実際の資産をあらわしていない。そこを修正したのをお願いしたい。

新本ひ: 通訳の方の6月のアニュアルの分は?

黒川: 7月にかかっているの、次年度に計上する。

佐藤や: 航空運賃が高く、予定していた25万円は2回のボードで使ってしまった。CFAでは電話回線、あるいはインターネットを使った会議システムを検討しており、それができれば経費が節減できる。10月からスタートできるといいのだが。将来は、年3回のボードのうち2回はそういう回線を使って、アニュアルだけ顔をあわせての会議になるのではないかと。米国のディレクターの国内旅費も馬鹿にならないようだ。

新本み: 将来はネット会議になると思うが、カメラだとかマイクだとかの費用は、それほど高くはないが購入する必要があるのか。支出が発生するかもしれないことを覚えておく必要がある。

小泉: 常識的な額の範囲であればよい。べらぼうな額ではないだろう。議事録と同時に会計報告の修正版を配ると良い。

### ■リジョン規約

小島: 議案を配布したのが遅いのではないかと。受け取ったのはミーティングの2週間前である。委任状提出の案内があったのは6月だから、議案を見ないで委任状を出せということになっていた。ミーティングの案内を受け取っていないクラブもある。おかしいのではないかと。排除する事をいつ決めたのか。

新本ひ: 年会費を払ってないクラブがミーティングで議決に参加できない、というのは、佐藤ディレクターの下でのリジョンの方針であり、昨年リジョン内で決まっていたことである。リジョンが年会費をもらったクラブにリジョン独自のサービスをして、払わないクラブにはそれをしないのは当然だ。ただし、CFA本部のサービスはすべてのクラブが受けられるのだから問題は無い。

小島: 年会費を払わないクラブに議決権を与えない、などという事は2月のボードでの承認事項には書かれてない。ペナルティーを与えてはならないとある。

佐藤や: このミーティングは会費を納めたクラブのみの集まりである。

小島: 年会費を取ることをセントラルオフィスは認めてなかったのである。2月のボードではじめてそのはなしが出たのではないかと。今まで何も決まっていなかった。

新本み: 昨年、年会費を徴収するのは憲章違反だと小島氏は主張したが、根も葉もないことであつた。

小泉: ではどうしてお金を払わないのか。理由を聞かせていただきたい。

小島: 800万円もあるではないかと。当初はお金がなかったので運営費が必要だったのはわかるが、今は必要ない。

佐藤や: ヒルズの包括的なスポンサーシップのおかげでこれまでやってこれたが、それも切れ、個々のイベント事をお願いしている。

小島: なくなれば都度、リジョンで集めればよい。

新本み: リジョンとして基金を持つことは必要である。

新本ひ: リジョン規約について各項目を審議する。

小島: この会議についてだが、委任状の取り扱いについても問題がある。

新本ひ: 昨年も委任状の取り方が違反だと主張したが、そのような規制はない。小島氏の言っているのはアニュアルにおける

手順でありジャパンリジョンの会議の進め方とは関係がない。  
佐藤や：第8リジョンでの了解事項や決議事項を明文化しようという。年会費を払わないクラブが15にも及んでいて、払わないクラブにまで同じリジョンサービスをするのは公平ではないと考えられる。私がディレクターになってそのようなクラブにはサービスを停止させてもらった。規約のようなものを作ることを考え、2月のボードミーティングで全会一致で承認された。以下、一項目ずつ審議していく。

小泉：会計、会計監査は役員として入れておくのがよい。

今井：ディレクターに何かあった場合の代理を指名しておく必要があるかもしれない。副ディレクターのようなもの、今後議論して欲しい。

小島：CFA憲章では空席になった場合の取り決めがある。

小泉：緊急時にはディレクターが一時的にCFA本部との連絡等のための代理を指名するとよい。

若松：活動そのものはCFAの第8リジョンであるので、小島氏の言うように、CFA憲章、ショールールに従って行う必要がある。そのほかに独自ルールを明文化する意義がある。リジョンの特殊性のためローカルルールは必要だ。

新本み：リジョンの活動が魅力的でないので年会費を払わないのかもしれない。各クラブにアンケートを取ってみれば。

小島：ショーをやっているクラブはサーチャージを払ってリジョンに貢献している。

若松：年会費を払わないでリジョンにありして、こーしてこれと言えら誰も払わないだろう。差をつけるのは当然だ。

新本ひ：話をもどして、ショースケジュールをドタキャンするのは避けていただきたいという第6条、日本で同時に東日本と西日本で、それぞれひとつ、合計で2つまでのショーが同時に開催できるとされている。静岡県までを東日本、愛知県から西を西日本としてきた。

今井：同日開催の件、経済状態がこんなでは、東京でも関西でも猫が集まらない、という状況になりかねない。何年か前も京都と東京でやって、半々にわかれて出陳頭数が集まらなかった。

若松：先にスケジュールを取ったクラブが許可したら、同日開催OKとしてはどうか。

小泉：何も喧嘩することはない、現在のような状況では同日開催を認めない方がよいのではないか。500頭も出てくる猫がいればいいが、200-250くらいしかいない。これを取り合っとうするか。以前もみんなで話し合ったのだから、ここで変えてもよい。猫人口が多くなったらまた同日開催について検討しよう。

桜井：気に入らないクラブがショーを計画したら、同日開催で邪魔をするクラブも出てくるだろう。猫を集めるためにも同日開催はこの際、やめてはどうか。

新本ひ：ひとつの週末にはひとつのショーだけ、というのに賛成の方(賛成多数)。同日開催は認めないことになった。

小泉：他のクラブがキャンセルした日程をもらっても、CFAに高い金を払わなくてはならなくなる。

平木：3ヶ月前からショー申請に割増料金が発生する。リジョンがキャンセル料を取ったらどうか。

新本ひ：キャンセルするクラブがキャンセル料を払うとは思えない。規則に書いても徴収できるとは思えない。

新本み：リジョンがキャンセル料を徴収する根拠がない。年会費を払わないクラブもCFA本部と直結している。リジョンディレクターがドタキャンをしないよう、そのクラブに与えることのできる不利益は、次のショーを認めないぞ、という事しかないだろう。

そういう権限はディレクターに現在もある。

室伏：日本では、ショー会場の都合で、特に公共の会場だと、予約していた日程に会場を取り上げられることがある。会場に優先順位があつて、キャットショーは予約をたえ入れていたとしても、他の催しによって会場を渡さないといけない場合がある。その件は配慮して欲しい。

佐藤や：そのような場合は配慮するので申し出て欲しい。ショーを他の催し、たとえば勉強会などに変更した、というのはショーのキャンセルと考える。

新本ひ：会費の件については、去年は年会費を集めることがCFA憲章違反であるという発言があり、それを確かめていたので請求が遅くなった。

小島：年会費という名目でCFA本部とリジョンと両方取るのは間違い、2月のボードでは年会費を認めてない、リジョンで討議をしないとやっているのだ。私の手元にある議事録に書いてある。ディレクターは勘違いしている。ペナルティーをつけないということも議論している。

新本ひ：年会費がだめというなら、リジョンの運営はどうやってお金を集めるのか。

小島：寄付ならいいだろうし、そもそも会議に参加させないという第7項目は問題である。すでに案ではなく参加させない、ということを実施しているのは問題である。

新本ひ：年会費という名称で集金したいがどうか(賛成多数)。文言として年会費とさせていただく。続いて第2項の年会費支払いクラブに対するサービスは。

新本み：リジョンが行うサービスは関西の方に薄いサービスになってしまっている。リジョン資材は関東に集中している。

今井：関西はクラブ数が少ないし、資材を持っているクラブから借りてうまくやれている。ライトは持ってないが、照明が十分な会場が確保できているので今のところ問題ない。

新本ひ：使用料金は5千円となっている。年会費を払ってないクラブからのみいただく。今のライトは意外と壊れる。修理に費用がかかった。使い方を周知したい。

桜井じ：通訳経費については、領収証等の証拠書類を提出することを書いておくとよい。

小島：過半数の出席、議決(規約など)は3分の2以上の賛成で可決とするのがよい。

新本ひ：その部分は規約案の記載間違いである。

桜井じ：議決事項をディレクターの参考にする、では弱い。削除したらよい。

室伏：第7条第2項の7はクラブミーティング参加要件と日程が矛盾する。現在のままでは支払った途端にクラブミーティングに参加できると取れるので削除するのがよい。

小島：昨年10月15日が締切と書いたのと、31日が締切という、ふたつの請求書があった。混乱させられた。役員会で勝手に決められている、という不満があった。これまでの手順が問題だ。

新本ひ：規約に入れてない申し合わせ事項をいくつか記載した。ショーの結果を掲載担当のところきちんと送って欲しい。

山下め：送って下さい、とお願いしても、なんであなたに送らなくてはいけぬのか、と反論された。担当だから、と言ってもわかってくれないクラブがある。

小島：結果を送っても載せてくれなかつたりするからだろう。年会費を払わないのでサービス停止で載せてくれないのかと思つた。ショー詳細もエキシビターが情報を欲しがっている、エキシビターの利益にならない。

岡田：クラーキングプログラムリエゾンからのお願い。遠くから

来ているジャッジのファイナルシート、ブリード・ディビジョンシートは優先してマスタークラークに見てもらいたい。新本ひ： 今回の議論における事項を修正してリジョン規約としたい。この方向で最終案とさせていただきます。スケジュール的に次回、というわけにはいかない。

小島： これをもらってないクラブもある(年会費を払ってないクラブ)。そういうところの意見を聞く必要がある。ディレクターが勝手に参加を制限しているのはおかしい。ディレクターはこの責任を取れるのか。

今井： もし問題があれば来年、改訂すればいい。

新本み： もし不当と思うなら、プロテストでもアゲインスト意見でもなんでもやればよい。

新本ひ： 決を採ります(賛成多数)。

#### ■クラブ提案事項

桜井： ジャパンリジョンで繁殖され、国際的に活躍した猫の表彰をしたらどうか。

小泉： 以前は何かやっていたように思うが。

桜井： 日本で生まれ、他リジョンでナショナルになった猫や、インターナショナルキャットショーで5位以内に入った、NWになったなど。ブリードとっただけはのぞく。功労賞のようなもの。ディレクターの考えでやっていただいて。

新本ひ： 米国に渡った猫がどんな成績になったかを見てないといけませんが、来年からは検討するというに。次の提案はリジョン年会費を払わないクラブへのペナルティーを、という意見。これは先の規約の議論でペナルティーはなしということで理解願いたい。CFA本部の色々な翻訳を載せたらどうか、という意見が次に。誰かがこれを担当できればいいが、機械翻訳ではとんでもない文章になるので、できるところから載せて行ければと思っている。誰かボランティアでCFA本部のニュースを翻訳してもいい、という人がいれば申し出を。もうひとつ、ショールール等で現実に合わないところなど、日本から提案していったらどうか、という事。

今井： 日本の場合はマスタークラークがショーのことをよくわかっていて、セクレタリーの業務(トランスファーなど)を代行してもらっていたりすることがしばしばある。ショー結果の郵送に関してもおまかせすることがある。ショーセクレタリーあるいはセクレタリーが指定する代理人が行う、などと現実に合わせるのがよい。テストに出ればセクレタリーと書かなくては間違いになる。

岡田： トランスファーについては、マスタークラークの機能を損なう恐れがあるので注意が必要だ。

佐藤： 1年に一度改訂の議論がボードで行われる。それに出せるように用意できれば。次の10月のボードに。

今井： 代理人が大丈夫な条項もいくつかあるので、それにならえばいい。

新本ひ： ショールールの間違い、私が翻訳者だが、ご指摘の箇所は、途中に1章追加された時に、順送りになった章の番号を修正するのを忘れていたもの。他にも、ご指摘いただければ修正するのでご指摘を。小島氏指摘の箇所も、一度見落してずっと気がつかない場所であった。

小島： 問い合わせてもらった件だが、1day6リングショーに16ページなければならぬ、という件、CFAIに問い合わせてもらったら16必要だ、ということだった。ショールールチェアマンのロレッタ・ポーに問い合わせた。日本のショーはエントリーが120とか130で、会場も狭い、13や14ページでいいじゃないか、との問い合わせに、それはそうだ、そのようにしてかまわない、との返事であった。ふたつのスタンダードがあるように見える。

新本ひ： CFA事務局は16ページより少ないのは認められない、との返事であった。この件もショールールの改定提案、ということであげられればいいのではないか。

新本み： 翻訳のブリード担当から、けっこう自分のブリードは詳しいが他ブリードは見落とすことがある。気がついたら連絡してほしい。

佐藤や： 現在は年会費を納めていないクラブについても、一緒になってジャパンリジョンを盛り上げていただければと思うので、ご協力をよろしくお願ひしたい(拍手)。

(議事進行、書記、新本洋士)

## CFAジャパンリジョン規約

前文：CFAジャパンリジョンはCFAの単独リジョンとして独立以来、リジョン所属クラブによるさまざまな申し合わせ事項を定めながら、運営を行ってきた。しかしこれらの申し合わせ事項は一部議事録として残されることはあったが、正式な形で明文化されることはなかった。そこで2007年2月に開催されたCFAエグゼクティブボードミーティングにCFAジャパンリジョンの規約案を提示し、このような規約を制定することが、CFA憲章およびCFAショールール等の諸規則に違反しないことが確認された。本規約はCFAジャパンリジョンの運営を滞りなく行うことを目的とするものであり、異なる考えのグループを排除するためのものではない。CFAジャパンリジョンはリジョン所属クラブすべてに開かれている。本規則がCFAジャパンリジョンにおける健全な愛猫活動の発展に寄与することを望む。(リジョン事務局, 2007年7月)

### CFAジャパンリジョン規約

#### 第1条 名称

本団体は米国ニュージャージー州に本部を持つThe Cat Fanciers' Association Inc. の日本リジョン(第8リジョン)であり、名称をCFA JAPAN REGION, 日本語ではCFAジャパンリジョン, あるいはCFAジャパンと称する。

#### 第2条 代表者

CFAジャパンリジョンの代表者は西暦偶数年にCFA本部が行う投票において選出されるCFAジャパンリジョン担当ディレクター(CFAジャパンリジョンディレクター)が代表を務める。また、CFAジャパンリジョンディレクターの住所あるいは連絡先を所在地とする。

#### 第3条 役員

代表者(CFAジャパンリジョンディレクター)は会計、会計監査等のリジョン役員を置く。病気、事故等によってディレクターがその任務を遂行できなくなった場合には、CFA本部による新たなディレクター選出手続きまでの間、ディレクターが指名した代理人がリジョン代表者を勤める。

#### 第4条 会計年度

CFAジャパンリジョンの会計年度は7月1日から翌年6月30日までとする。

#### 第5条 ジャパンリジョンアワードの担当ディレクター

西暦偶数年のリジョンアワードの開催日においては、当該年6月末のCFA年次総会において開票指名された新しいディレクターの任期がはじまっている場合であっても、ジャパンリジョンアワードおよび付随して開催される

CFAジャパンリジョンクラブミーティング等の指揮は前任のディレクターが引き続き行う。

#### 第6条 ショースケジュールの調整

ジャパンリジョン内(日本国内)でCFAキャットショーを開催しようとするクラブは、リジョンショースケジュール担当に申し出て日程の調整を受けなければならない。会場との契約書か、少なくとも2人のジャッジとのコントラクトをリジョンショースケジュール担当に提出する。ショールールに定めるトラディショナルデーにあたる場合はこれらの提出は不要で、日程の申し出のみでよい。この際、リジョンショースケジュール担当にトラディショナルデーであることを申し出ること。他クラブのトラディショナルデーにショースケジュールを入れる場合は文書によって当該クラブから許可を得ること(CFA本部に提出する書類の写しでもよい)。

同一の週末に日本国内で開催できるCFAキャットショーはひとつのみとする。2007年7月以前に許可してきた東日本と西日本での同じ週末におけるふたつのキャットショー開催は認めない。

#### 第2項 ショー日程のキャンセル

リジョンへ申し出たショー日程をキャンセルする場合は当該ショー開催予定日3ヶ月前までにリジョンショースケジュール担当に通知すること。当該ショー開催日の3ヶ月前以降にショー日程をキャンセルした、あるいは通知なく当該ショーを開催しなかった場合には、当該申請ショー日程の週末以降1年間の日程につき、ディレクターは当該クラブのトラディショナルデー以外の日程を許可しない場合がある。ただしショー日程を他クラブに譲り、そのショーが開催された場合にはこの限りではない。

#### 第7条 CFAジャパンリジョン年会費

CFAジャパンリジョン所属のキャットクラブから年間1万円の年会費を徴収する。当該会計年度の8月31日までにリジョン会計担当者へ納入すること。

#### 第2項 年会費支払いクラブに対するサービス(入金日より当該会計年度終了後の8月31日まで)

- 1) ショールールおよびショースタンドの日本語版配布(会計年度内の5月に発行予定)
- 2) リジョン資材の無料貸し出し
- 3) リジョンWebサイトのクラブリンク
- 4) リジョンWebサイトへのショースケジュール詳細の掲載
- 5) リジョンアワードカタログへのクラブ広告の割引(10,000円→7,000円)
- 6) ボードミーティング日本語要約の配布

第3項 年会費を支払わないクラブに対しては、当該年度の9月1日以降、前項のサービスを停止する。年度途中

に支払った場合はその時点から前項のサービスを提供する。

#### 第8条 リジョン機材の利用料金

審査リング照明, ナンバーカード一式, およびトランシーバー等の利用料金は1回のショーにつき5,000円とする。ショー開催日の2週間前までにそれぞれの保管者まで申し出ること。なおリジョン年会費を支払ったクラブには無料で貸し出す。その他の資材はリジョナルディレクターが認めた場合には無料で貸し出すものとする。いずれも送料は利用者持ちとする。

#### 第9条 CFAジャパンリジョナルディレクター通訳等経費の支出

リジョナルディレクターが年3回の定時ボードミーティングに参加する際の通訳にかかる経費(旅費, 宿泊費, 食事代, 謝礼等)をCFAジャパンリジョン会計より支払う。会議が電話回線, インターネット等によるオンライン会議である場合には, 会議参加場所(ディレクターの自宅等)への旅費等を支出する。経費の明細をリジョン会計に提出すること。

#### 第10条 リジョンクラブミーティング

リジョナルディレクターはCFAジャパンリジョナルアワード開催時に定期の, あるいはリジョナルディレクターが必要と認めた場合に臨時のリジョンクラブミーティングを招集することができる。会議において議案を提出し, 議論, 決議に参加できるクラブは定時クラブミーティングにおいて, 第7条第1項の期限までに前年度のリジョン年会費を支払ったクラブ, 臨時クラブミーティングにおいては開催年度の第7条第1項の期限までにリジョン年会費を支払ったクラブとする。

第7条第1項の期限においてジャパンリジョンに所属するクラブ数の過半数(委任状を含む)の出席をもって会議が成立するものとし, 出席者の過半数の賛成をもって決議を行う。

#### 第11条 規約の改定

本規約の改定は前条に定めるリジョンクラブミーティングにおける出席者の3分の2以上の賛成を持って行うことができる。

#### 附則

本規約は2007年7月21日より施行する

#### 別表 リジョン資材リスト(カッコは保管場所)

リジョン資材:

リング照明(小泉)

照明スタンド(小泉)

ナンバーカード(小泉)

トランシーバー(佐藤)

ISO規格マイクロチップリーダー(新本)  
横断幕(佐藤)

リジョン規約に含まれないCFAジャパンリジョン内申し合わせ事項(案)

- 1) ショースタート時の推奨事項: 可能な限り, ショースタート前にショーコミッティー, クラークを含むスタッフミーティングを行うことを推奨する。
- 2) ショー主催クラブは, 猫の出陳あるいはショー会場設営をクラーク担当者に強要しない。
- 3) ショー会場での募金行為, バザーなどは事前にリジョナルディレクターに申し出ること。必要な場合は寄付者に領収証を発行すること, あるいは募金者と金額リストを作成する(ただし匿名可)。ショー終了後, 収入金額と用途をリジョナルディレクターに報告する。
- 4) キャットショー開催クラブは, キャットショー終了後, ショーの結果(すべてのファイナル)およびショーカタログ1部をリジョンショー記録担当に速やかに送らなければならない。
- 5) クラークリエゾンからの要望事項: 早く帰るジャッジのファイナルシート, ブリード・ディビジョンシートを早く処理すること。ショーマネージャーはファイナルを可能なかぎり優先させる。

附則 本申し合わせ事項は2007年7月21日より施行する